

# 諏訪小だより

令和5年2月18日  
特別号  
多摩市立諏訪小学校  
校長 齋藤 幸之介

## 教育活動アンケートについて

校長 齋藤幸之介

昇降口に向かって左手、今は6年生の下駄箱がある手前には、紅白の梅が咲いています。まだまだ寒い日が続きますが、春が近づいてきているのを確かに感じます。これから、木々は葉を蓄え、また、様々な花の色で賑わうだろう、と胸が躍ります。本校もこれからはばらくの間華やかになります。

さて、大変遅くなりましたが、皆様にお寄せいただいた「教育活動アンケート」を取りまとめましたので、お知らせをいたします。

アンケートの結果から、本校の教育活動について多くは御理解をいただけたかとも思いましたが、一方でまだ十分に行われていないことも多々ある、と捉えております。細かい点、特に具体的に御意見を頂戴した内容からは、私共が平素見過ごしていること、またすぐに行われるべきことが実施に至っていなかったことに気付くことができました。これらにつきましては、来年度できうる限り教育活動や教育環境に生かしていきます。しばらく御時間を頂戴することもあるかと思いますが、御理解を賜ればと思います。

直接御意見を頂戴しておりますが、本年度は昨年度より公開の機会を増やしてきた次第ではございますが、やはり保護者の方々が参観される機会が十分に確保できない中、アンケートにお答えいただくのは御負担をかけている、と考えます。ここにお詫びと感謝を申し上げますとともに、感染症の拡大が収まって今後皆様が御来校いただける機会を一層多く確保できるようにできればと願うばかりです。

今後共、御理解と御協力をお願いしたく存じます。

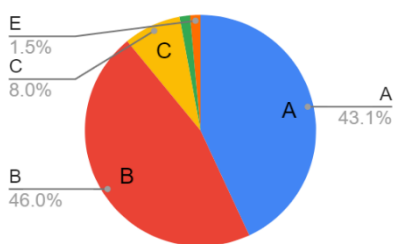
次ページ以降にアンケート結果を掲載いたしますが、円グラフにあるA～Eは、以下を示します。

- Aーとても当てはまる
- Bーおおむね当てはまる
- Cーあまり当てはまらない
- Dー全く当てはまらない
- Eー分からない

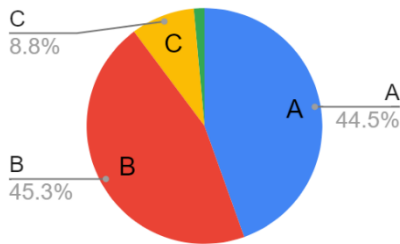
また、円グラフA～Eの後に書かれている数字は「%」です。  
どうぞよろしくお願い申し上げます。

# 1 確かな学力を育むために（学校の教育目標「かしこく（広く学び、深く考えよう）」

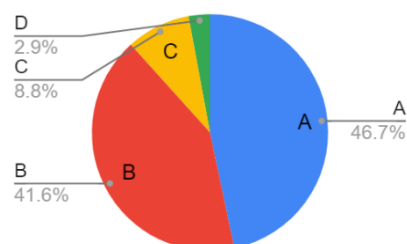
1 教員は、子供たちが知識や技能を身に付けられるように取り組んでいる



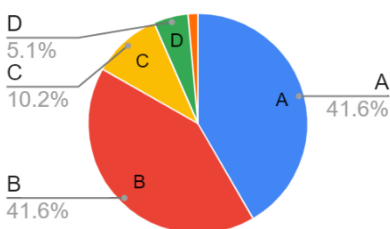
2 教員は、子供たちが学習のねらいにむかって進んで活動できるように取り組んでいる



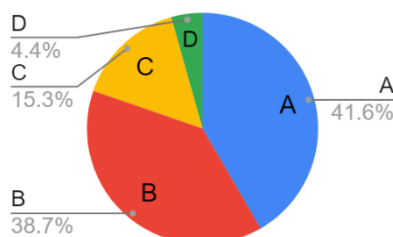
3 教員は、子供たちが自ら考えたり、考えたことを書いたり相手に伝えたりするよう力が身に付くようにしている



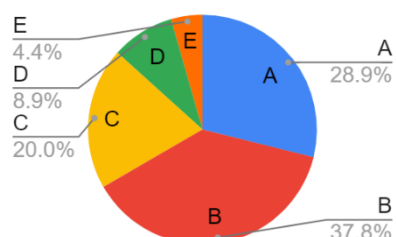
4 教員は、子供たちが友達や教員、地域の人々などに関わりながら活動できるようにしている



5 教員は、子供たちが家庭学習に取り組めるようにしている



6 教員は、算数で、子供たちの実態を的確に把握し、一人一人の力が身に付くようにしている

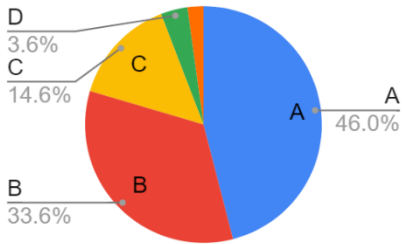


教科等の学習については、昨年度に引き続き概ね御理解をいただいている、と捉えております。学習指導要領改訂に基づく新教育課程での教育活動も軌道に乗り、子供たちには、自ら問題を解決する力を育成すべく、進んで学習活動に取り組むための様々な力が求められています。具体的には、知識・技能の習得（設問1）、主体的に学習に取り組む態度（設問2）、思考力・判断力・表現力の育成（設問3）が必要です。いずれも一朝一夕には達成できず、粘り強い取組が必要ですが、学年さらには子供たち一人一人に応じた指導・援助を目指していきたい、と改めて思っております（設問6など）。また、地域の人々と関わりながら学習を進めることは成果を確実に上げるために重要である、と改めて確認をしました（設問4）。来年度も引き続き、総合的な学習の時間や生活科を中心に行った野菜の栽培など、本校の環境のよさを生かした活動にも重点を置いてまいります。また、多摩市では、多摩市の子供たちを、将来大人になるまでに身近にある環境や気候変動を始めとする社会課題について多面的に考え、解決を図ることができる「ESDですすめる2050年の大人づくり」を目指しているところですが、来年度は、本校を含む諏訪地区の学校の児童が「令和5年度多摩市子ども未来会議」に出席し、未来の多摩市のために自分たちができることを話し合います。本校でも教科の枠を超えて、今後さらに条件を整えて多様な活動が行われるようにしていきます。又、タブレット端末の活用についてはさらに工夫をしてみたいと思います。御協力を頂戴する機会が多々あるかと存じますが、その際にはどうぞよろしくお願い申し上げます。

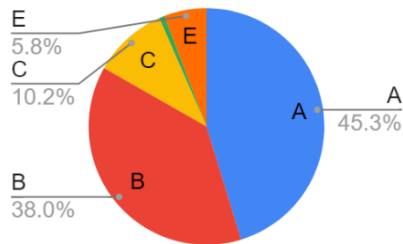
家庭学習の実施については、十分な取組とこれに応じた成果が確実に上がっていない場合がある、と分析をしました（設問5）。これも、子供たち一人一人に応じた内容、働きかけが必要である、と捉えました。学校での学習時同様、適切な評価を行いながら、学力向上の一助とすべく取り組み方を改めて工夫したいと思います。

## 2 豊かな心を育むために（学校の教育目標「やさしく（共に感じ合い、認め合おう）」

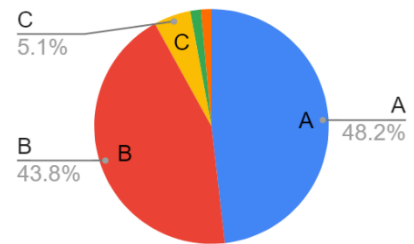
7 教員は、子供たちが学校に来たいと思い、楽しく学校生活を送っている、と感じられるようにしている



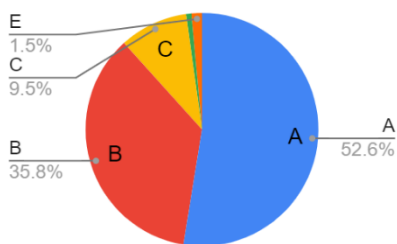
8 教員は、子供たちが進んで挨拶ができるようにしている。



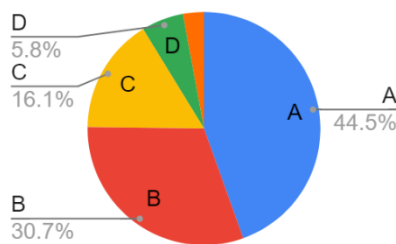
9 教員は、係や当番活動、委員会などにおいて、子供たちが責任をもって活動できるようにしている



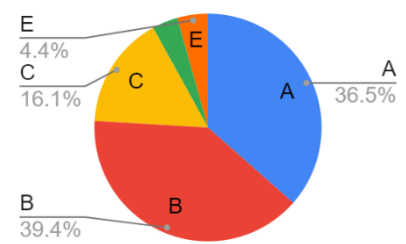
10 教員は、子供たちが力を合わせ、進んで学校行事に取り組めるようにしている



11 教員は、子供たちをよく観察し、また困ったことがあったら話し合ったり手立てを講じたりしている



12 教員は、子供たちの自己肯定感が高まるようにしている



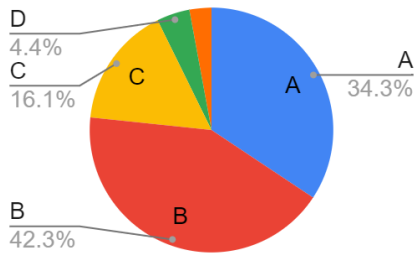
「生きる力」の一つとして位置付けられている「豊かな心」の育成は、何よりも、いじめをなくすためにも最も重視をしていかなければならないことです。学校への期待（設問7）、友達や教職員と関わりながら活動を行うこと（設問9、10）については概ね理解をいただいている、と捉えています。しかし、この点については100%に限りなく近くなることが理想であり、今後もさらに重視をしなければならない、と振り返っています。道徳の授業なども中心としながら、平素の全ての活動において「いじめは絶対に許さない」ことを徹底的に指導すること、また、未然防止に努め、いじめにつながるような行動や発言があった場合には、「迅速」「正確」に対応すること、また保護者の方々には「丁寧」に御説明することを、校内で改めて確認をしたところであります。御理解をいただければと思います。

また、子供たちを適切に見取って一人一人のよさを認めたり励ましたりし、またこのことによって子供たちの自己肯定感を高めること（設問11、12）も「豊かな心」を育てるためには不可欠です。特に、およそ20%の子供たちが自己肯定感が高まっていない、という評価結果となりました。友達を大切にするためにも、まず自分を大事にすることを改めて認識し、今後子供たち一人一人をよく観、適切に関わっていくようにしたいと考えています。子供たちへの働きかけ方、特にほめ方などの声のかけ方についても御意見を頂戴しています。今後の指導改善に生かしていきたいと思ひます。

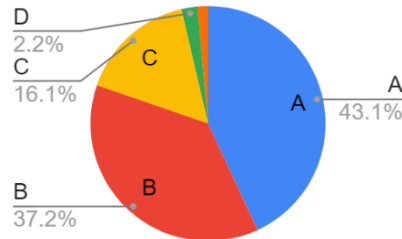
挨拶については、引き続き改善の余地は大いにある、と捉えています。単に「子供たちに挨拶をさせるために」と考えるのではなく、子供たちが進んで挨拶をしたくなるための工夫を考えたいと思ひます。今年度は、様々な学年が工夫して挨拶運動を行いました。子供たちの活動も一つの契機としながら取り組んでまいります。

### 3 たくましい体を育むために(学校の教育目標「たくましく(身体を鍛え、元気に過ごそう)」)

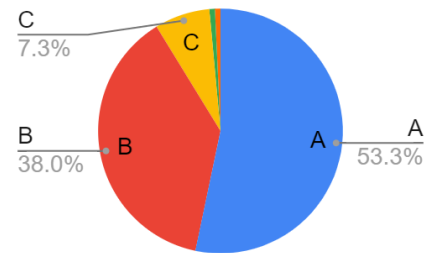
13 教員は、子供たちが自ら進んで体力を高められるようにしている



14 学校は、健康診断や保健指導等を通して、子供たちが自らの健康に関心をもって生活するようにしている



15 学校は、子供の防災や安全に対する意識を高めるために、適切に避難訓練や安全指導を行っている



およそ 4/5 の子供たちが自ら進んで体力を高めている、との評価をいただきましたが、約 20% は体力の向上に十分にに取り組んでいない、という御回答でした（設問 13）。

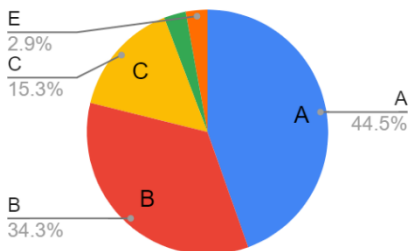
本年度、運動会、また冬を迎えて児童の運動委員会が主体となり、全校を挙げて長縄チャレンジを行いました。各クラスで跳べた回数が伸びていくようにと、休み時間に練習に励む姿が見られました。また、平素の体育学習の充実を目指すために、教員が他教員に授業を公開しながら「楽しい体育」を目指すべく授業改善を図ってまいりました。さらに、外部からプロスポーツ選手の講師を招き、児童が野球やラグビーなどを体験して運動の楽しさを味わえる機会を設けました。今後も、体力向上のための「継続した」取組が児童の生活に根付くよう、改めて、校内の担当を中心に計画を見直し、一層大きな成果が上げられるように工夫してまいります。

健康診断に際しましては、保護者の方々には御協力をいただき、ありがとうございます。御家庭には結果をお伝えするとともに、医療機関での受診をお願いしているところです。本校では、養護教諭が発行する保健だよりで様々な観点からお伝えをしており、御家庭でも具体的にお話しいただいていることと思います。また、各学級で行われる学級指導では、時期等を踏まえた保健指導も行っています。今後も本校からの情報伝達に努めてまいりますので、皆様に改めて御協力をいただきたいと思います（設問 14）。

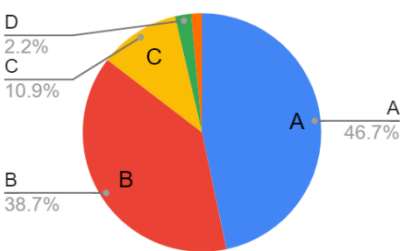
子供たちの安全を保障するための避難訓練は確実に月に 1 回実施しており、また安全指導についても全校朝会や学級指導を中心に行っています（設問 15）。避難訓練については、地震や火災だけでなく、不審者が侵入してきた場合も想定した訓練を行っています。コロナ禍で全校が最後に集合することが敵わない場合もございましたが、一方で、全校朝会における集団行動も避難訓練の一環として位置付けており、成果は確実に上がっています。今後も、様々な想定をしながら確実に訓練を行い、子供たちが自ら対応できる力を養えるようにしていきます。

#### 4 連携を充実させるために

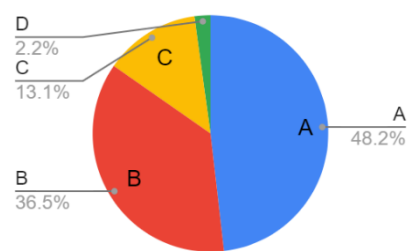
16 学校は、保護者や家庭との連携を図り、子供たちの活動を充実させようとしている



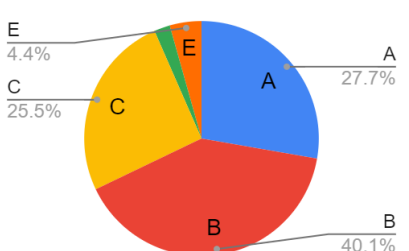
17 読み聞かせや登下校時の見守り等、保護者や地域の方のお力が学校の教育活動で生かされている



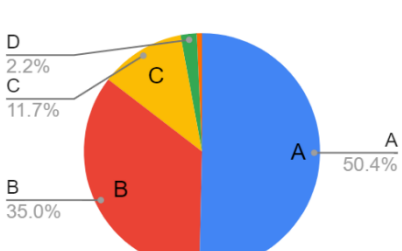
18 学校は、学校(学年・学級)だより等を発行して保護者や家庭に適切に情報を発信している



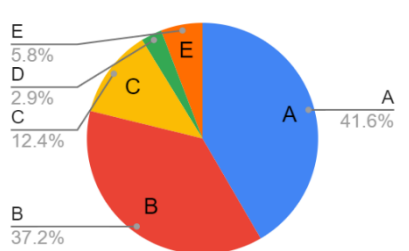
19 学校は、ホームページを活用して保護者や家庭に適切に情報を発信している



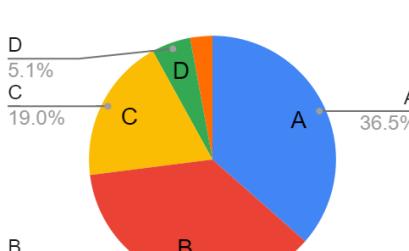
20 教職員は、保護者からの連絡や相談等に適切に対応している



21 教職員は、協力し合って教育活動に取り組んでいる



22 教員は、タブレットの活用を分かりやすく進めており、家庭でも活用しやすくしている



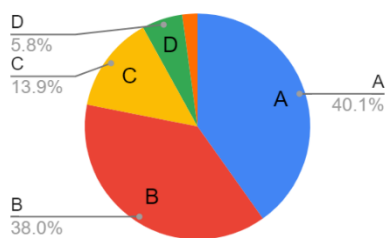
保護者の皆様の御協力の下、様々な連携を図っていただいておりますことに、感謝を申し上げます(設問16)。また、読み聞かせや登下校時の安全確保のために御活躍くださっているボランティアの方々に感謝の御言葉を具体的に頂戴しております(設問17)。ここに御紹介をするとともに、私共からも御礼を申し述べたいと思います。今後共本校から適切な情報を提供し、また個別にも対応をしていきながら、皆様と連携を図ってまいりたいと思います(設問18、20)。また、学校公開等につきましては、感染対策を取った上で、できるだけ保護者・地域の方々に開かれるように計画を立てました。特に、今年度は地域ボランティアの方々の御協力をいただき、「書き初め展」を夕方まで参観いただくことができました。まだまだ十分な機会と場を御提供できていないことを心苦しく思い、申し訳なくお詫び申し上げます。今後の状況も不透明であり、どこまでできるかは分かりませんが、可能な限り皆様に教育活動を直接御覧いただける機会を設定したいと思います。

一方で、ICT機器の活用を中心とした情報提供や連絡方法の改善について御意見を頂戴しております。このことは、多摩市より貸与されているタブレット端末の活用にも大いに関係して

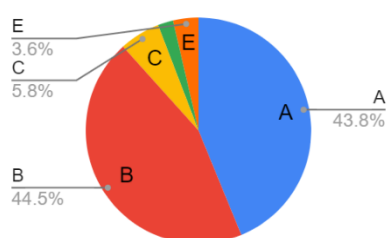
いる、と捉えています（設問 19、22）。タブレットの持ち帰りについて賛否御意見を頂戴しています。病気等で欠席の場合の連絡など活用している面はありますが、使用に関するモラルの指導を徹底させていくとともに、学年や実態に即した対応をこれからも心掛けてまいりたいと思います。LINE を通した市や学校からのメール配信も始まりました。ペーパーレス化を視野に入れた通信等のデジタル化については大きな課題として位置付けたいと思います。その際には御意見を伺う場合もあるかと思いますが、御協力願えればと思います。

## 5 施設・設備について

23 教室や廊下の環境（掲示物や清掃等）は、整えられている



24 校庭の遊具や花壇等は、児童が安全に安心して使用できるよう整えられている



環境については、「冒険の丘」を始めとする本校のいくつかの環境・設備については高く評価をいただいている場合もありますが（設問 24）、一方で、整備の仕方を中心に御意見を頂戴しております（設問 23、24）。具体的には、教室や廊下にゴミが落ちているなど、汚れに関する事です。このことについては、改めて改善を図りたいと思います。

なお、トイレの改修については、令和 4 年 7 月から 9 月にかけて工事をを行い、洋式化が図られました。